

プロジェクトサイト評価実習

6月17日（金）5時までにTAへワードファイルで提出

サイト記述で以下の要素を含めてください

- (1) 物理的なサイト記述--サイトの地形、斜面、方位とユニークな特徴、例えば、クリーク、窪地、尾根、盛土など。サイトの周辺、隣接する領域、道の位置、道路、フェンス、排水溝などを含む。
- (2) 歴史--過去また現在の用途と活動。伐採後の切り株の腐敗、昔の牧草地など過去の用途は、クライアント、隣人からの説明、歴史的な文書、航空写真、昔の土測量図などを解釈したものを根拠とせよ。
- (3) 植生--サイトの中で生き残り優占している在来種(ラテン名と和名)と、ユニークで希少な在来種、育成すべき園芸品種も記録。それらの分布も記録(特定のタイプの植物は特定の地形に関連しているかどうか?)。また植生の被度と高さを推定する(当て推量もOK!)。外来種/侵入種も同じ様に処理する。
- (4) 土壌--土壌の構造と有機物量(多い・・・泥炭土など、適度・・・A層>20cm、少ない・・・A層>5cm、とても少ない・・・A層<5cm)を記録する。人工地盤では植栽有効土層厚（高木の生育に十分・・・60cm以上、草本・低木なら・・・20cm以上、植栽は難しい・・・20cm以下など）を記録する。認識できる範囲内で、異なった植物群落や地理学的な特徴と関連づけて記録する。ぬれた窪地における土、尾根の土、古い牧草地からの土、クリーク堤に沿う土は皆異なるだろう。あなたの考え次第でお好みにどうぞ。
- (5) 水文--どのように水はあなたのサイトを流れていき、どのように形跡を残すのか。クリーク、池、湧水、汚水スポットなど。
- (6) 背景となる土地利用 (matrix) --隣接している土地の記録、それらはどうあなたのサイトに影響するか。在来種の繁殖体の起源は? 攪乱のソースは? 甚大なエッジ効果は? あなたのサイトと非常に似ているか? 広大な地域の一部であるあなたのサイトは回復すべきか? などなど。
- (7) 攪乱--あなたのサイトでどんな攪乱が起き、今でも続いているか? それらのインパクトはどんなものだったか? それらのインパクトは、ある一定の区域に拡散しているか、集中しているか? 攪乱の原因は何か? プロジェクトを完成された後にどれくらい続くような感じか?
- (8) 生息地の特徴—クワガタムシが生息する倒木、カワセミの営巣できる土壁、オオタカが営巣できるマツなどのユニークな動植物の生息（生育）地の特徴など。
- (9) 地図--上の要素を含んでいる簡単な、しかし、有益なサイトマップを作成する。地図の重要な要素は以下の通り。

- ・ 地形

- ・ 植生
- ・ 土壌
- ・ 水文
- ・ マトリックス
- ・ 局所的な攪乱(道、積み薪など)
- ・ 生息地特徴

GIS を利用し、パターン、陰影、色を使用して、好きな領域を表してください。

例えば：青い陰影をつけられた領域は、地面は適度の有機成分のシルト質ローム土で、コバギボウシが生えているハンノキ林を表す。網目状の陰影部分はズミのパッチを表す。

あなたはあらゆる種と土壌型を地図に作成する必要はない。煩雑になりサイトマップが読みにくくなってしまう可能性がある。**注意すべきは、地形、土壌、水文、攪乱、および植生の複層的断面を表す均質なポリゴンによって、サイトがどのように分割されるかということである。** サイトは1つの均質のポリゴンからなっているかもしれないし、より複雑で多くのポリゴンからなっているかもしれない。しかし、おそらく少なくとも2つ以上のポリゴンに分けられるだろう。